

事業者向け 放課後等デイサービス自己評価表

令和3年7月実施・8月公開

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	改善目標、工夫している点など
環境・ 体制整備	①	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	○			時間をずらす、仕切りで区切る、他の部屋を使うなど、子どもの特性に応じた組み合わせを考えてスペースを確保している。さらに広く使える様工夫したい。
	②	職員の配置数は適切であるか	○			支援する人員は十分で、個別対応ができています。場所と人の動きをさらに工夫したい。
	③	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか	○			車椅子等での移動に配慮して、門から玄関までのスロープ、玄関や室内の段差をなくす等、バリアフリー化している。
業務改善	④	業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に広く職員が参画しているか	○			全職員が参画努力して定期的にケース会議や業務会議、日々の振り返りを行っている。目標設定をさらに具体的にして職員の中で共有していく。
	⑤	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	○			保護者にご協力いただいたアンケート調査の結果（別文書公開中）を全職員で確認している。さらなる業務改善につなげていく。
	⑥	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	○			（公開中）
	⑦	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか			○	外部評価は受けていないが、法人で内部監査を受けている。また、会計士や同法人内の他施設から評価・助言を得ている。
	⑧	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	○			研修の機会は設けられているが、参加する機会が減ってきている。内部研修の充実をはかるとともに、外部研修にも参加したい。
適切な支援の提供	⑨	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	○			個別支援計画は、アセスメントや保護者との面談を行って作成し、保護者の同意を得て支援を行っている。
	⑩	子どもの適応行動の状況を図るために標準化されたアセスメントツールを使用しているか	○			子どもの発達を考慮した独自のアセスメントツールを作成し、使用している。
	⑪	活動プログラムの立案をチームで行っているか	○			児童発達支援管理責任者や担当者間で話し合い、活動プログラムを決定している。
	⑫	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	○			子どもの状況・状態、また組み合わせに合わせて、固定化しないように工夫している。
	⑬	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか	○			長期休暇時は、平日にはできない体験をすることを目的に、小集団での活動（グループ学習や買い物等）を設定している。
	⑭	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成しているか	○			事業所内での個別や小集団での活動のほか、併設の学童ルームとの交流活動も合わせた支援計画を作成している（感染予防のため自粛中）。
⑮	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか			○	当日の動き、活動内容、場所などを確認しているが、小集団活動の内容や役割分担をさらに明確にしていく必要がある。	

	⑯	支援終了後には職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	○		一日の振り返りを毎日行い、情報の交換・共有を行っている。振り返り時に担当者が不在の場合は日誌や回覧で情報を共有している。
	⑰	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	○		毎回個々の支援の記録をとり、継続した支援につなげている。
	⑱	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	○		担当者の報告をもとに、ケース会議や保護者との面談等にて確認し、支援計画の見直しの必要性を判断している。
	⑲	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせさせて支援を行っているか	○		ガイドラインに沿った形で、それぞれの子どもの状況・状態に合わせた支援内容を選択し、複数組み合わせさせて支援している。
関係機関や保護者との連携	⑳	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか			これまで相談支援事業所からの会議要請はないが、電話での聞き取りやモニタリングには児童発達支援管理責任者が対応している。
	㉑	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか	○		行事や下校時刻などの学校の情報は保護者から提供してもらっている。送迎時の申し送りやトラブル発生時には学校と情報共有を行い、連携して対応している。
	㉒	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか			（対象児不在）
	㉓	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか	○		併設の保育室卒園児については、情報共有・相互理解はできている。他園卒園児は、保護者を通じて情報を得ている。
	㉔	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか		○	保護者を通じて情報を提供している。保護者の希望があれば、対応する。
	㉕	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	○		研修に参加している。
	㉖	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか	○		併設の学童ルームと頻りに交流の機会がある。感染予防のため学童ルームには入室できないが、屋外活動では交流することもある。
	㉗	（地域自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか			○ 要請がないので参加していないが、機会があれば積極的に参加したい。
	㉘	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	○		送迎時などの保護者との会話や活動の記録ノートによって情報を共有し、共通理解をもっている。
	㉙	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか		○	プログラムという形態はとっていないが、保護者に寄り添いながら日常生活の中での支援方法等の助言を行っている。

保護者への説明責任等	③⑩	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	○			重要事項説明書や支援計画書をもとに説明を行っている。運営規定等の情報は常に閲覧可能になっており、問い合わせ等には随時対応している。
	③⑪	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	○			保護者からの相談には随時対応している。内容によっては、職員間で検討して助言や支援を行うこともある。
	③⑫	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか			○	保護者交流会の開催を検討していたが、感染予防のため実現できていない。
	③⑬	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	○			相談や申入れには可能な限り対応している。苦情対応に関する掲示やご意見箱の設置等、苦情に対応する体制を整え、重要事項説明書に明記し周知している。
	③⑭	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	○			法人から『くれよん通信』、事業所から『デイだより』を発行している。また、ホームページやメール等を用いて情報発信に努めている。
	③⑮	個人情報に十分注意しているか	○			外部への持ち出し禁止を徹底している。
	③⑯	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	○			送迎時に担当者等が子どもの状態等を聞き取り、また保護者に活動の様子を伝えている。保護者の意見の聞き取りも行っている。
	③⑰	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか			○	以前は法人全体で開催する行事への参加を呼びかけていたが、感染予防のため実施できていない。
非常時等の対応	③⑱	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか	○			各種マニュアルを作成し、契約時に文書にて保護者に周知している。改善の必要があれば職員全員で検討し、見直しを行っていく。
	③⑲	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	○			事業所独自または併設の保育室や学童ルームと合同で、毎月避難訓練を行っている。
	④⑰	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	○			外部研修に参加して、内部で共有している。関連する資料の読み合わせをして確認している。
	④⑱	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか			○	今後の課題として、早急に検討していく。
	④⑲	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか			○	保護者からの聞き取りをもとに、アレルギー源を含む食品は提供していない。
	④⑳	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	○			日々の振り返りで報告し合い、情報を共有して検討し、改善につなげている。